

危険! 洗浄剤の専用容器以外への移し替え

先日、アルカリ性の業務用洗浄剤を金属製の容器に入れたことによ る破裂事故がありました。類似の破裂事故は 2012 年と 2018 年にも 発生しています。洗浄剤を専用容器以外に移し替えると洗浄剤の成分 により、思わぬ事故が発生します。¹⁾²⁾



今月度は、洗浄剤等の専用容器以外への移し替えに関して、特に気 をつける必要のある事柄をお伝えします。

※「洗剤と洗浄剤」:洗浄の主な作用が界面活性剤によるものは「洗剤」、それ以外の酸やアルカ リ、酸化剤等の化学作用によるものは「洗浄剤」と区別されています。

○アルカリ性や酸性の洗浄剤をアルミ缶にいれると破裂する!

発生した事故の概要は、駅の切符自動販売機の脇に業務用のアルカリ性洗浄剤を入れた缶コーヒ ーのアルミ缶が置かれ、大きな音を立てて破裂、内容液が噴出したというものです。その場にいた 人は金属缶の破片によるケガと内容液を浴びた化学やけどを受けてしまいました。また、駆け付け た駅員も内容液で化学やけどを負いました。破裂した容器は、勤務先で使っていた業務用アルカリ 洗浄剤を自宅で使うためにボトル型の缶コーヒー用アルミ缶に移し替えたとのことでした。移し替 えた本人は、過失傷害の疑いで書類送検されています。

何故、このような事故が起きたのでしょう?業務用の製品は一般家庭用の製品に較べて使用され る要求性能が高く、アルカリ性の業務用洗浄剤では、家庭用では使われない高い濃度の水酸化ナト リウムや水酸化カリウムが使用されて、強いアルカリ性に設計されているものが多くあります。ア ルミニウムは両性金属といって、酸やアルカリに溶解する性質があります。この時に、水素ガスが 発生します。アルミニウムの原子量は約27ですので、1gのアルミニウムから1.5(3/2)倍のモル 数に相当する約 1.2L(1g/27g×3/2×22.4L)の水素ガスが発生することになります。

アルカリ : $2Al + 2NaOH + 6H_2O \rightarrow 2Na [Al(OH)_4] + 3H_2\uparrow$

: $2Al + 6HCl \rightarrow 2AlCl_3 + 3H_2\uparrow$

今回の事故では、密閉された容器の中に水素ガスが溜まり、缶の内圧が高まり破裂したものと思 われます。金属製の容器だから丈夫なのではと考えてしまうかもしれませんが、中味と化学反応を 起こします。事故が起きたのは、仕事先のアルカリ性の業務用洗剤ですが、酸性洗浄剤でも同様の 現象が起きます。業務用、家庭用を問わず製品の酸やアルカリを示す液性により、アルミニウム製 の容器 (コーヒーアルミ缶の重量は $20 \sim 25 \,\mathrm{g}$) に入れて密封すると、同様の現象を起こす可能性が あります。³⁾

また、これらの洗浄剤は、皮膚や眼に対する刺激性が高く、噴出した液は皮膚に付着すると化学や けどを起こす、眼に入ると失明の恐れがある等大変に危険な場合があります。液性がアルカリ性ま たは酸性と表示されている製品のアルミ缶への移し替えは絶対に止めましょう。

○次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系の製品には他の製品を混ぜない

紹介した事故事例に限らず、洗剤や洗浄剤などの製品は大変便利な製品ですが、使い方を誤ると 思わぬ事故を起こすことになります。「まぜるな危険」の表示についても注意しましょう。

ませるな危険

次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系の製品(塩素系カビ取り剤、塩素系漂白剤など)の水溶液に酸 性の液体を混合することで塩素ガスが発生することがあります。塩素ガスの毒性により人体への危 害が懸念されます。

○洗剤や洗浄剤の専用容器以外への移し替え使用は厳禁

それぞれの製品の容器は、内容液の特性や用途に合わせて設計され、材質・強度・機能性等が慎重 に検討され、使用時だけでなく保管時にも安全が保たれるように設計されています。そして、容器 には商品名に加え、用途、使い方、成分、使用上の注意、応急処置など、その製品にとって重要な情 報が表示されています。専用容器以外に移し替えて使用すると、これらの情報を確認することが出 来なくなってしまいます。移し替えた本人以外は、中に何が入っているのか知り得ませんし、本人 も時間の経過とともに移し替えたことを忘れてしまうこともあり、誤使用や誤飲に繋がることもあ ります。

使うのは内容液だからといって、"洗剤や洗浄剤の専用容器以外への移し替え使用は厳禁"です。

【参考にした情報】

専用容器以外の移し替えは危険 ~洗剤の事故~ ; 東京消防庁

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kouhouka/pdf/241212.pdf

アルカリ性洗剤とアルミニウム缶の反応実験:東京消防庁

https://www.youtube.com/watch?v=QC93cd3Yo-k

気をつけよう暮らしの事故 I:日本化学工業協会

https://www2.nikkakyo.org/upload/plcenter/0322 1-3.pdf